

「ごみはどこへ～健康なくらしとまちづくり～」 (15時間)

授業者：嶋田 陽介

1 本校の社会科で目指す「価値」



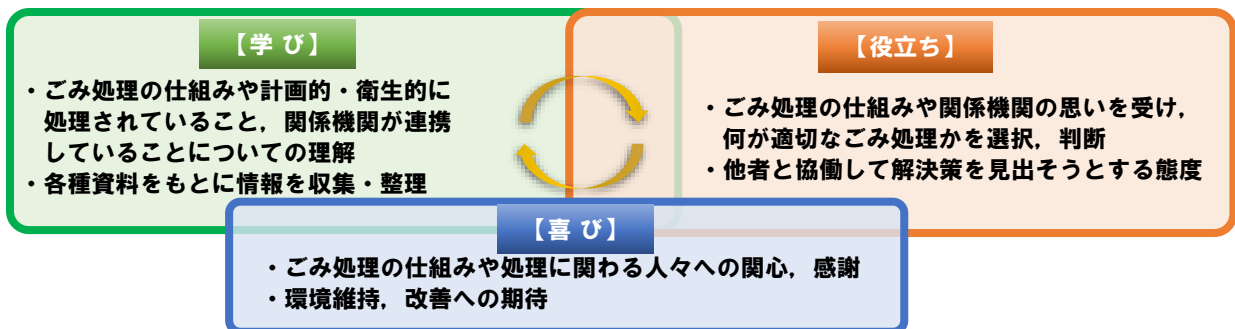
2 本単元の社会的背景（現状と課題）

教育基本法第2条の第3号には、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」が規定されており、OECD Education2030プロジェクトにおいても、「それぞれが属する社会における自らの役割や責任を認識したうえで、一人一人が主体的に行動していくこと」が求められている。また、子供たちが現代的な諸課題に対して求められる資質・能力として、「健康・安全・食に関する力」が求められており¹、健康的な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動していくことが必要と考えられる。そこで、本単元「ごみはどこへ」では、ごみ問題を通じて社会における自分の役割や責任を意識して行動していくことと健康に生活していく力を高めることができる授業を行う。

ESD(Education for Sustainable Development)では、持続可能な社会を構築するために、「未来を築く担い手」になることを目指している。しかし、志村(2017)ⁱⁱは、「一般学校におけるESDは、必ずしも十分に広がったとは言い難い」と述べ、さらに「活動・参加といった学習過程や道徳的態度の習得に力点がおかれすぎ、学校教育という場に求められるESD本来の目的に照らせば疑問を感じるものすら散見される」と指摘している。

そのため、本単元では、現行の学習指導要領社会科で前回から引き続き示されている「学習したことを基に、社会への関わり方を選択・判断する力」ⁱⁱⁱの育成のために、ごみ処理の仕組みや再利用について学ぶ中で、他者と協働して解決策を検討したり批判的に物事を考えたりしながら、社会への関わり方を自身事として捉え、よりよい社会を目指すために選択・判断する力の獲得を目指した授業を行う。

3 本単元で目指す「価値」



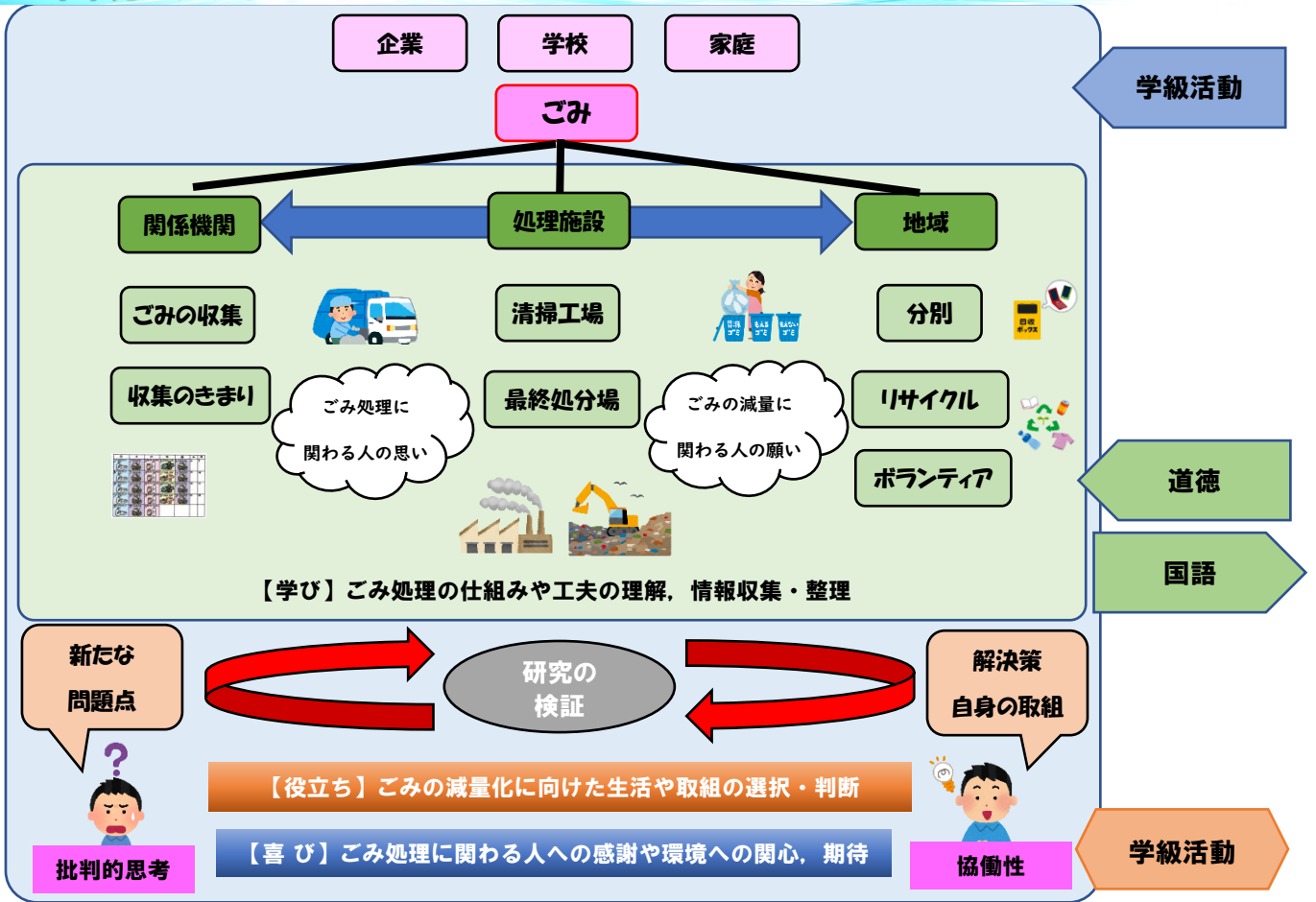
4 研究仮説

上記の「価値」のために、子供のごみに対する関心をもとに、「ごみ処理の仕組みや関わる人々」に関する情報を収集したり理解を深めたりする学習活動を展開する。それによって、ごみに対する関心や関係機関への感謝の気持ちを持ち、ごみの減量、環境の維持と改善に向けた行動につながると考え、次の通り研究仮説を設定した。

研究
仮説

ごみ処理の仕方やごみの減量に関わる人々の思いを理解し、ごみ問題が社会に与える影響を調べる学習活動を通じて、批判的思考力を働かせながら環境の維持と改善に向けた自分なりの解決策を見出そうとする態度を養うことができる。

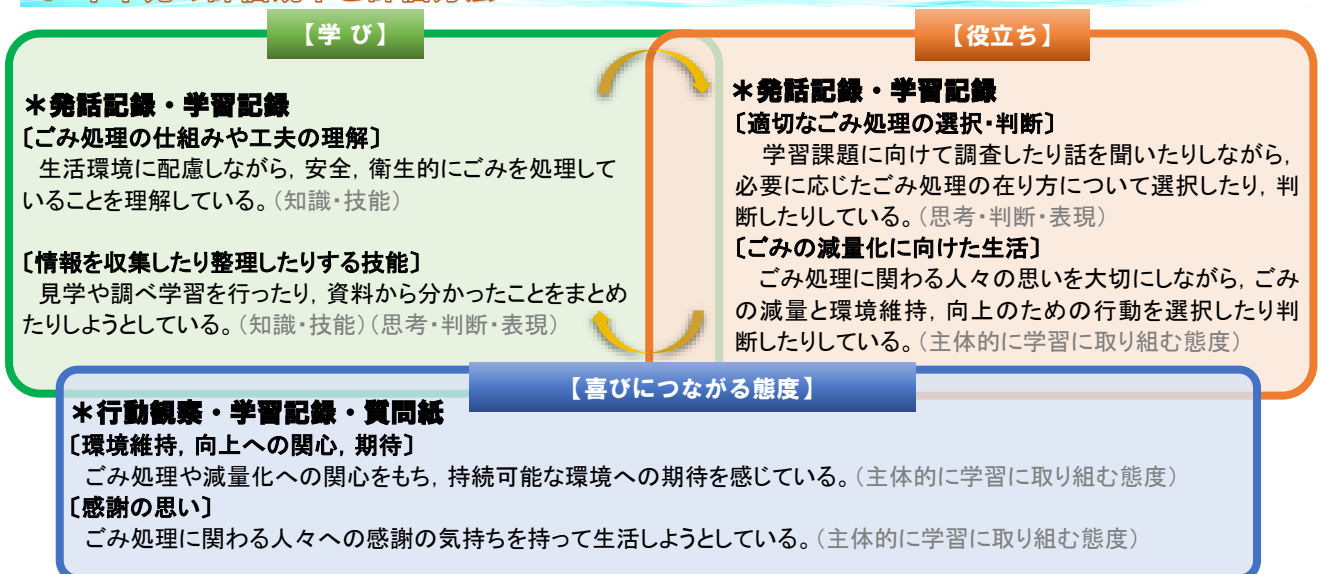
5 本単元のデザイン



6 本単元で価値をつくる子供の姿

ごみ処理の仕組みや関わる人々の思いについて情報を整理しながら学習する活動を通して、ごみの減量という課題解決に向けた取組について考えるとともに、環境維持、改善のために社会の一員として自覚をもった行動ができる。

7 本単元の評価規準と評価方法



注) * は評価方法，括弧内は，現行学習指導要領における観点別学習状況の評価の観点

8 本単元の構成（全15時）

本単元では、普段の生活の中で大量、多様なごみが排出されており、種類ごとに分別や処理がなされていること、処理に関わる人々の取組によってごみの減量化や環境の維持がなされていることへの理解を目指す。処理施設の調査やごみ処理に関わる人の話、処理や再利用の方法についての情報整理、振り返りや自分の考えを表現する活動を通して、ごみ処理に関わる人々に対する感謝の気持ちをもって生活するとともに、社会の一員として適切にごみを分別したりごみの減量化につながる取組をしようとしたりすることができるようにする。

また、学級活動（給食、清掃等）や道徳科、国語科と関連しながら、環境の維持や向上への関心と期待、ごみ問題に対する意識の向上、自分の考えの深化を図る。その際、資料を繰り返し見直したり友達との意見交流を短時間で行ったりできるように、ICT機器を活用しながら授業を進めていくことによって、学びを役立て喜びを感じる子供の育成を目指し、本単元を以下のように構成する。

時	○ 学習活動と価値をつくる子供の姿	★教師のかかわり	評価
1	○ 身の回りのごみに着目し、自分たちの生活では様々な場所で多くのごみが出ていることに気付く。	★生活とごみが密接に関係していることに気付くことができるよう、家、学校、地域等の視点でごみが出る場面を問いかける。	ごみ処理に対する 関心
2	○ 家から出るごみについて調べ、様々な種類や量のごみが出ていること、収集のきまりがあることをおさえる。	★ごみ処理に対する課題意識を高めることができるよう、家庭ごみの調査や環境問題との関係について投げかける。	
3	○ 身の回りのごみがどこでどのように処理されるのかについて調べるための学習課題を作り、学習の見通しをもつ。		
集めたごみはどのように処理され、最後はどうなるのだろう。			
4	○ ごみ収集の様子について調べ、収集の際の工夫やきまりについて捉える。	★ごみ処理の仕組みや工夫について比較したり整理したりできるよう、ワークシートを活用したり、理由を問いかけたりする。 ★ごみの分別や回収、再利用についての情報を整理したり比較したりできるよう、ICT機器を活用しながら互いの考えを比較したり共有したりする。	ごみ処理の仕組み
5~6	○ 清掃工場の仕組みについて調べ、処理の仕方や工夫についての理解を深める。		情報収集・整理の 技能
7~8	○ 最終処分場での処理の仕方について調べ、工夫や課題について考える。		ごみ処理に関する 選択・判断
9~10	○ 資源ごみの処理の仕方について調べ、ごみ処理と再利用を並行して行う必要性を考え交流する。		感謝の思い
11	○ 学習課題について学んだことを整理し、新たな課題をつくる。		ごみ減量化に 対する関心
ごみを減らすために自分たちができることは何だろう。			
12~13	○ ごみ処理に関わる人や地域でごみの減量に関わっている人の話を聞き、処理の仕組みが計画的に改善してきたことを理解する。	★様々な取組や願い、思いによってごみの減量が行われていることに気付くことができるよう、異なる立場の取組についての資料を提示する。	ごみ減量化の工夫 情報収集・整理の 技能
※	○ 道徳の学習で、ボランティア活動に取り組む人の理解や感謝の気持ちを高める。		感謝の思い
14 (本時)	○ ごみ問題の解決に向けて自分たちができることについて考え、交流する。	★実践可能な解決策を検討できるよう、自分の考えを比較したり問題点を伝え合ったりする場の設定を行う。	ごみ減量化に 向けた生活
15	○ 解決策を全体で共有し、考えをまとめる。		
※	○ 家庭でのごみの分別や清掃活動等の取組に生かす。		環境向上への期待

9 本時 (14 / 15時)

ごみの減量に向けた取組を行ってきた人々の思いや願いをもとに、ごみ問題の解決のために自分たちができていることを考えるという学習課題を共有する。これまでの資料等を活用し、ごみ問題の解決によって健康的な生活ができることに気付くとともに、ある立場から考えると別な問題に直面するというジレンマに向き合いながらごみ問題の解決策を考え表現したり、より実現性のある取組について判断したりする。

本時の目標

ごみ処理の仕組みやごみの減量に向けた取組をもとに、ごみ問題の解決に向けて自分たちができていることについて考え話し合う活動を通じて、具体的な解決策を選択、判断できるようになる。

【前時まで】

ごみ処理に関わる人々の願いや、ごみの減量活動に取り組む企業や人々の思いを聞いていく中で、ごみ問題の解決には様々な視点に立つて考える必要があることに気付いている。

○ 学習活動や子供の姿

評価

★ 教師の関わり

<p>環境維持の思い 感謝の思い</p> <p>↓</p> <p>ごみ減量化のための選択・判断</p> <p>↓</p> <p>環境向上への期待 健康的な生活や</p>	<p>○ ごみの減量のために行われている取組について振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>スーパーマーケットでは、資源ごみの回収を呼びかけていたね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>市では、ごみの量を減らせるように様々な取り組みをしていたよ。</p> </div> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>ごみ問題の解決のために、できることは何だろう。</p> </div> <p>○ ごみ問題の解決策について、個人で考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ごみの分別表を見ながら、間違いがないように分別する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>余計なごみが出ないように、必要な分だけ買い物する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ごみ収集の人が安心して集められるように、種類や時間を守る。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新しく作るとごみが出てしまうから、リサイクルマークがついているものを買う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>汚れていると集めている意味がないから、資源ごみの汚れをきれいにしてから出す。</p> </div> </div> <p>○ 考えた解決策を交流し、良いところや問題点を伝え合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>スーパーマーケットで弁当を買うときは、弁当箱を持ってきてもらう。</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue; margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 30%;"> <p>面倒だと思う人が増えると、売り上げが下がってしまうよ。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>買い物のときは、リサイクルマークがついているものを買うようにする。</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue; margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 30%;"> <p>マークがついているものが高いと、家の人は買ってくれないかも…。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ごみ収集の人が安心して集められるように、種類や時間を守る。</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue; margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 30%;"> <p>誰でもできそうでいいね。でもこれだけではごみが減らないのでは？</p> </div> </div> <p>○ 交流で得た意見をもとに、自分の取組について整理する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>プラスチック製品を買わないのは無理だと分かった。買い物の回数を減らすのはできるかも！</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>いろいろ考えてみたら自分ができることってなかなか難しい。もっと話し合っ決めてたい。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>ごみ減量化に向けた生活【役立ち】 ごみ処理に関わる人々の思いや取組の実現性を考えながら、環境の維持、向上について選択したり判断したりしている。(発話記録・学習記録)</p> </div> <p>○ 次時のまとめに向けて、見通しを持つ。</p>	<p>★ 具体的な取組をイメージできるよう、掲示物を提示したり振り返りシートを見直したりするよう促す。</p> <p>★ 理由をもって取組を考えることができるよう、ごみ処理に関わる人々の思いや願いを全体で共有する。</p> <p>★ どの視点から解決策を考えたか明確になるよう、参考にした人の思いや資料をもとに選択するよう促す。</p> <p>★ これまでの資料をもとにしながら解決策を検討できるよう、ICT機器のシンキングツールを提示する。</p> <p>★ 解決策を多面的に検討することができるよう、別の立場になって考えるよう促したり、教師が反対意見を述べたりする。 [協働性][批判的思考]</p> <p>★ 自分たちが実行できる解決策になるよう、全体交流の中で実現可能か、不可能かについて問いかけをする。 [批判的思考]</p> <p>★ 実際に自分が取り組むことを想定しながら考えることができるよう、具体的な場面を例示したり問いかけたりする。</p>
--	--	--

ⁱ 中央教育審議会答申(2016)「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な改善策について」

ⁱⁱ 志村高(2017):教科教育としてのESD授業開発の手法.井田仁康編『教科教育におけるESDの実践と課題-地理・歴史・公民・社会科-』,古今書院,pp.10-25.

ⁱⁱⁱ 文部科学省(2018)『小学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版